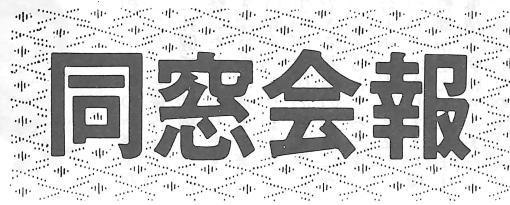


紙面紹介

1頁 会長あいさつ、総会通知
 2頁 学校長あいさつ
 母校の現況
 3頁 アメリカ訪問雑感
 定時制の現況
 4~5頁 学芸・体育部活動の1年
 6頁 不況下の進路状況
 支部連絡先
 7頁 事務局便り、予算決算・
 8頁 同窓会規約、
 編集後記

福島県立郡山北工業高等学校



同窓会報

発行所
 〒963 福島県郡山市富久山町八山田大林1
 福島県立郡山北工業高等学校同窓会
 郡山 (0249) 32-1199・32-6217
 発行者 渡辺 達和 英雄
 編集代表 高野 正吉
 写真撮影 宮部 正吉
 発行部数 6,500部

印刷所
 (有)ヤシマ孔房
 〒963 郡山市菜根1-6-21
 ☎ 22-3533代

今から二十年前頃、アメリカの自動車産業の実態をテレビで見た。その印象は今でも忘れられない。車体がレールの上にあつて、長い列をつくって流れて行く。大小の部品が次々と組立てられて、完成する様子に、さすがはアメリカだなあと驚いたものだ。その頃のアメリカの自動車の普及率は五人に一台とか云われていた。日本ではようやく軽自動車が始めた頃であつたと思う。私も昭和三十七年に運転免許を取得し、商売用に軽トラックを購入した。その頃の軽自動車は力が無く、急な坂道では中々登れず苦労したものである。その後日本の自動車工業界は、技術の進歩が目覚ましく、アメリカの公害規制とオイルショック以来、益々その技術は進み、低公害・低燃費車の開発と低コスト化が進み、日本の自動車産業を世界一にのし



同窓会会長
 渡辺 達和 英

世相寸言

上げてしまった。その結果日本車の輸出が伸び、アメリカ全土を日本車が走り回ることになったが、これはアメリカが燃料費の多い大型車だけを製造していたからであろう。日本の産業の発展は、日本人の勤勉さ等と云れているが、日本人の生活力ではないかと思う。去る終戦後日本各地に産業の芽が始め、各地でストが発生し、長期に渡ってストを実行した会社・組合があつた。その結果、会社を潰すことになる。然しその後は労使の歩みよりと経営者の努力で産業が盛んになる。イギリスは、大英帝国と云われ七つの海を制したが、今では経済的に大変苦勞している。何が原因かと云えば、英国の炭鉱労働者が、炭鉱ストで英国の経済がストップしたことに由来する。炭労者が二年以上にわたってストを行い、真冬の零下数度の中での停電、暖

房のストップは英国の経済に大きな影響を及ぼし、結果的には産業のストップとなり、経済が破壊することになる。

その頃酒のツマミのバタバタ税金がかかつている。日本で問題になっている大型消費税である。日本に於ける国鉄の大型赤字の原因は、労使双方の責任ではあるが、特に労働者の順法闘争にある。長びく闘争にしがたを切らした生産者、経営者が国鉄の貨物輸送からコストの高いトラック輸送に切り替えた。生鮮食品が一週間も十日もストップしたのでは生産者も消費者も死活問題である。トラック輸送が盛んになると早く安くのサービスで益々利用者が増えて行く。午前中注文すると次の日荷物が入る。国鉄より早くて安いのだから利用者が増えるのも当然。国鉄労使は協力して赤字減らしをすべきた。結局つけを払わされるのは国民である。ここ数年、米や農作物の減収と世界の不況の中で日本の経済は世界の輸入規制の制限を受け苦境に立っているが、政府与党も野党もお互いに足を引っ張りあいで、国民にもっと目をむけるべきであろう。

同窓会員数

郡山工(金)	五、八四
同(定)	七、六九
郡西工	三、七三
郡北工(金)	二、四三
同(定)	二、六二
計	三、〇七

(本日現在見込み)

昭和58年度
 同窓会
 総会通知

昭和58年度定期総会を左記のように開催いたします。多数参加して下さい。ようご案内申し上げます。尚新会員はご招待いたしますので会費は無料です。

- 記
- 一、五月十五日(日) 午後二時より
 - 一、場所 多楽食堂
 - 一、郡山市堤下町
 - 一、会費 三千元 (当日持参下さい)
- 懇親会

文房具・事務用品・ファンシー・アクセサリー・画材

有限会社 **渡 達**

郡山市麓山通り (市民会館入口) TEL 22-1159

後輩を送る時期を

迎えて

学校長 山口 博



昭和五十八年の新春を迎えましたが、先輩各位には益々ご健進で活躍のことと拝察いたしております。

特に先端技術の進歩の著しい昨今でありますが、在校生一同次代の産業界に活躍できる基礎の習得にがんばっているところで。

統合七年目を迎えまして少しづつではありますが環境の整備が進んでおります。財政事情の窮屈さもありまして、飛躍的な整備は現在のところ望みませんが、将来のあるべき全体計画を見通して、徐々に進めているところであります。

景気の動向を反映して、三年生の求人状況も例年になくきびしかった訳であります。すが、すぐれた先輩の残してくれた実績と、三年生諸君の努力の甲斐がありま

して、例年なみの内定率となっておりません。内定率のなかなか伸びない高校の多いなかにあつて、高い率を本校が示していることは、工業高校が不況に強いことと、先輩のお蔭と感謝に堪えません。

在校生の諸君も、各方面において十分に活躍してくれました。運動面におきましても、男子ソフト部が東北大会で優勝して、鹿児島で行なわれた全国大会に山岳部とともに出場いたしました。定時制では、軟式野球部が県内優勝を果たしまして、昼の甲子園に相当する神宮球場で、晴れの出場を飾りました。卓球部も全国大会に進出して敢闘いたしました。

先輩各位の絶大なるご支援により完成いたしました同窓会館も、十分に活用いたしまして、後輩が強化につとめている所でありまして、新人大会を終りまして、現在来春をめざしての基礎練習に励んでいるところであ

ります。ご期待に沿える活躍をしてくれるものと信じております。間もなく卒業する三年生が、先輩の活躍する現場等



教頭 佐藤 富 重

母校の現況

同窓会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。日頃より母校発展のためご協力願ひ厚くお礼申し上げます。

さて、本校も旧郡工・旧西工の統合以来六年を経過しました。この間、施設設備・教職員組織ならびに生徒生活が充実発展の一途をたどっておりますことは誠に有難くご同慶の至りと存じます。今後は、十周年を迎えるための具体策の検討に向けてご協力をお願いしたいと考えております。

本年度は、新一年生より新教育課程が実施に移され特に工業科目で工業基礎・工業数理の新しい工業各科共通学習内容の実験実習として履修されています。幅広い工業技術者養成が期待されるところであります。これらの実習には、昨年度購入

に参るかと存じますが、その節はよろしくご指導ご助言を賜わるようお願いを申し上げます次第であります。

したマイコン二〇台が使われ近代化教育が進められています。

八月には、中学生の一日体験入学が実施され中学生約五〇〇名参加、主として工業各科の実験実習の見学と部活動実施状況の参観を行ないました。中学生の職業学科選択に役立ち好評を得ました。一月には、高校入学者選抜の推薦選抜面接を行ない、各工業科の二〇％程度の募集に対し一五五名の出願者中より九三名の合格内定者を選びました。

在校生も、例年通り工業技術資格取得に努力し、ガス溶接技能・ポイラー技士・アーク溶接・電気工事士・危険物取扱・ラジオ音響技術・情報技術・製図・計算技術・アマ無線・消防設備士などの検定や資格取得者は一二三四名に及んでおり

ます。卒業後の進路選択・職種決定に大いに役立てております。

環境整備も着々進められ現在の学校用地も市より県に移管され年度末までには本校所管となる見通しです。待望していた軟式庭球場防球ネットフェンスが建設され面目を一新しました。また、本年度卒業生から生徒用東昇降口前に記念庭園が寄贈されました。校庭・野球場への散水設備も整備できました。

以上、学校の近況の一端をお知らせいたしました。今後共学習内容の充実・生徒生活の向上・部活動の振興・工業技術者社会人としての資質向上に精々努力いたします。

同窓会各位の益々のご発展と母校へのご協力ご援助をお願い申し上げます。報告といたします。



事務長、村上弘氏が停年により退職となり、新しく福島医大事務局より佐久間英男氏が本校事務長として就任しました。(昭5741)

ビックカウンター店 ☎24-0541



郡山市中町ビュープラザ2F



教頭 箱崎和雄

アメリカ

訪問雑感

昨年、十一月、凶らずも県当局の厚意により、アメリカの教育事情視察を命ぜられ、三十名の視察団の一員として、半月程アメリカに行つて参りました。片手に満たない訪問地からアメリカを語る事は「葦の髄から天井を覗う」の暴挙に等しく、自信もないし、紙面にも限りがある事なので、訪問地と概況について極く簡単に紹介する事に致します。

*ワシントンDC アメリカの政治、文化の中心。街全体が公園かと思うばかりポトマック公園、アーリントン墓地を中心に緑と樹木と川と道路が多い。国会議事堂、ホワイトハウス、スミソニアン美術館、博物館等、外観内容共にアメリカの首都として堂々たる偉容を持つ美しい街だ。唯、物価が高く暮しにくい感じがした。
*フィラデルフィア アメリカ合衆国独立当時の首都。

当時の歴史や自由の鐘が存在する歴史の街。商業の街として、又イタリヤ系の人種の多い街として興味をひく街。

*オーランド フロリダ州のほぼ中心にある緑とオレンジと湖の町、デイズニーワールド、エプカップセンターを宇宙スペースシャトルの打ち上げ基地、ケネディセンターを北に控えて脚光を浴びてきた街で、限りなく続く原野とオレンジの樹海、静かな町である。
*ニューオーリンズ ミシシッピ河口から百五十軒遡行した地点にあるフランス人によつて開かれた街。アメリカ開拓史上重要な意義を持ち、そして黒人哀愁の街、ジャズ発祥の街として忘れ得ぬ街である。今でも黒人の多い街で現市長はアメリカで唯一の黒人市長だと云う。江利チエミに唄われたバイヨーステートもこの通りの特徴なら、サンシャインブリッジもこの

やや上流にある。欲望と云う名の電車で知られ、有名なドローハウスや小泉八雲が若かりし頃住んでいたと云う家もある。商港として観光の都市として印象に残る街だ。
*リバ・モア市 サンフランシスコの東方約九〇軒、カリフォルニア大農園地帯の入口と云つて良い。ア



教頭 山田善之助

定時制の現況

アメリカ国立原子力研究所があり、ここに勤める科学者達の大部分が此の街に住む関係上、アメリカの文化水準、教育水準を誇つている。地平の端まで続くカリフォルニア大農園地帯を控え、有名なヨセミテ州立公園も日帰りの距りにある静かな落ちついた街だった。

同窓生の皆様には益々ご健勝のことと思います。本校定時制も昭和三十四年に発足いたしましたから幾多の変遷を経ながらも皆様のご理解ご協力に支えられて既に二十有余年の歴史を重ねて参りました。その間に卒業生の数も一千余名に及び、それぞれ各界において活躍されておられることに誠に力強い限りであります。
ご承知の通り、定時制に学ぶ生徒諸君は、昼間それぞれの職場で働き、全日制の生徒がテレビなどを見て寛ぐ時間には教室の机に向

い、眠たい目をこすりながら学習に励んでいる訳で、思えば至難ともいえる勤労と学習の両立を自らの力で実践しているこうした姿は、むしろ崇高でさえあります。近年、社会経済の変化に伴い定時制に学ぶ生徒はたしかに量的には「曲がり角」に来ておりますが、現在本校は、通常・専修の両コースを併せて十七才から四十五才まで中卒、高卒、そして大卒の生徒を含め七十名の多様な生徒が在籍しております。正に生涯教育実践の場でありませう。技術革新

の時代に生きるため、工業技術の修得や、各種資格取得に意欲をもってがんばっております。

一方、部活面においても本年度は、卓球部と野球部が県大会で優勝し全国大会に出場いたしました。野球部は五十三年度以来四年ぶり、二回目の神宮球場出場を果たしました。神宮での定通制の野球は、甲子園大会でみられる勝たんがために学校も家庭もそして地域も商業主義に侵蝕されて狂奔する異常さとは違った誠に地味そのもので、むしろ勝つことより参加することに重点をおいたフェアな精神、心の鍛錬が目的で、教育的な感動を覚えるものがあります。

次に、今年度は新しい時代に対応した定時制教育の充実策について、後期中教審からの答申も出されております。単位制の弾力的な運用など、就労条件の多様な化等をふまえて、学校を挙げて検討に取り組んでおるところであります。勤労青少年の教育の場である定時制に今後とも一層のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。同窓生各位のご健康とご発展を念じつつ現況の報告といたします。

味とボリュームの弁当

ホクト一食品

郡山市山崎305-90 TEL 22-0166



校舎A・B・C棟

学芸・体育部活動 奮戦・この1年

吹奏楽・陸上・ソフト・山岳など

二つの成果

▼生徒会

この一年間の生徒会活動を振り返り、特筆すべきことは二点である。一つは生徒会役員の意識についてであるが、なかなか意気軒昂たるものがあり、自分たちの生徒会を創るんだという熱意が感ぜられる。

これと関連して二つめは彼らを取り組んだ行事である。数ある活動のうち、特に五月のリーダー講習会(二泊三日、国立磐梯青年の家)は役員、中央委員(HR代表)計五十五名の参加を得、外部講師高垣芳郎氏をして瞳目せしむる程、いきいきとした生徒の活動が見られた。氏によるグループ・ワーク・トレーニングの結果、秋の文化行事に関する効果的な会議もたれた。そして十月に新役員による生徒会が発足し、十一月の秋の文化行事は、企画立案、連絡調整、会場作成実施に至るまで、すべて新旧役員の手で行い成功裡に終わった。新年度は三年に一度の北嶺祭を迎える。すでに一月から彼らは動き出した。すばらしい祭典になるだろう。

(顧問)

盛大に定期演奏

▼吹奏楽部

吹奏楽部の活動状況をふり返ってみると、数多くの演奏の機会にめぐまれ、充実した一年を過ごしました。四月の交通安全パレード(新入部員の指導)、六月の県南音楽祭、七月は県音楽祭、野球応援、八月には吹奏楽コンクール県大会Aクラスで銀賞を受賞。九月、秋の交通安全パレード、全国聾学校陸上競技大会、十月はサッカー県大会ハーフタイムショーでのフィード、ドリル、十二月のクリスマス大会での演奏と数多い行事に参加しました。

そして今、一年間の練習の成果を発表する第六回定期演奏会を二月十一日、郡山市民会館で開催しました。一部はクラシックとオリジナルの作品、二部は県内唯一のステージ・ドリル、三部は楽しいいっばいのポップスと内容の充実した演奏会にすべく部員は毎日練習に精を出しました。吹奏楽の日頃の活動にご支援を頂き感謝申し上げます。

(中山郁子)

三部、この一年

▼写真部

部員二十六名で秋の文化週間での展示と先日行われた合同作品展を中心に活動してきた。合同作品展のために喜多方への撮影会を催し、質的向上に努めたが、技術面がともなわなくて、よい作品ができたとは言えない。

▼美術部

郡山地区高校美術連盟での活動が中心で、春の写生会、夏の講習会、秋の高美連展と大きな行事の上に合同作品展への出品と、日々休むことなく活発な活動状態であった。ただ部員数が少ないのが難点だが、それらをふまえて更に努力していきたい。

▼アニメーション部

めしより好きだという者二十六名が集まって、アニメ映画を制作中。この一年間、会誌の発行、校内文化祭でのイラスト展示、そして一月末に開かれた三部合同展示会に参加し立派な成果をあげることができた。今後は、文化祭をめざして映画制作一筋の毎日です。

新人戦で初優勝

▼テニス部

春、まずまずの出来上がりでシーズンに入りました。が、県高校大会に於ては、主力選手に二年生が多いため、主キヤリア不足が目立ち、早々と姿を消してしまいました。その二年生達を着々と実力を蓄え、夏の県総体には頭角を出して来ました。三年生の協力を得、夏休みの猛練習の結果、秋の新人大会に於て団体戦初優勝を遂げることが出来ました。

二月十一日、一関市で行われる春の全国高校選抜大会東北予選へ向け、体育館での夜間練習猛烈に励みました。総勢八チーム、力に差がなく、新年度へ向けて、かなりの活躍が期待できると思われまます。なお一層の努力、精進をする所存です。

(岡部誠彦)

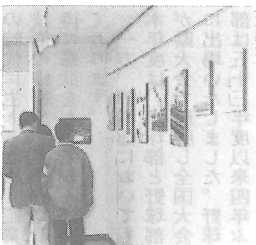
学校対抗で優勝

▼陸上競技部

各ブロックとも近年になく充実し冬期練習から鹿見島インターを目ざし頑張ってきたがシーズンと同時に主力メンバーの相次ぐ怪我で目標達成は実現しなかつた。選手達にも不安な気持ちが出始め意欲のない練習がしばらく続いたが夏季合宿を契機に故障者も回復し県総体を迎えた。一六〇〇MRで念願の一位になり学校対抗でも優勝することができた。

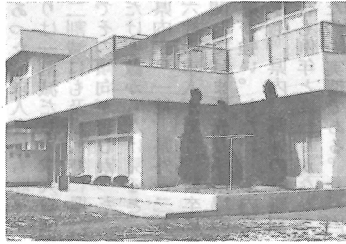
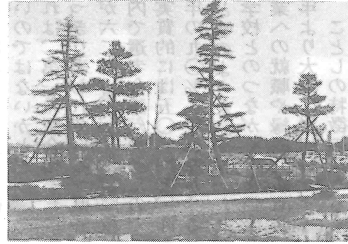
その後、ミニ国体で釣巻が三段跳に出場一四M〇七を樹立し県高校順位一位になり、県高校新人陸上では九種目に入賞。五〇〇M三段跳の二種目が南東北新人陸上に出場権を獲得した。五〇〇Mに出場した佐々木は一五分三四秒の大新で二位に入った。また、部員にも「意欲・和」がでてきた。今年度は去年の反省を生かし一人でも多く名古屋インターハイ目ざして努力したい。

(星保男)



中町やまのいで

一九八二、三卒の第五回卒業生、四百二十七名が贈呈した庭園。正面玄関東南角、百三十万円



一九八〇年未完成の同窓会館に、昭和39卒赤井田守夫さん(須賀川市 赤井田造園)より植樹が寄贈された。

東北制覇

▼ソフト部

六月青森県八戸市で行なわれた第八回東北高等学校男子ソフトボール選手権大会において念願の初優勝を致しました。この勝利は苦の練習に耐え信念に燃えた結果であると思います。全国インターハイ「鹿児島」では調整の失敗で一回戦で大敗する予想外の成績でした。今年度の目標を二つ立て第一の目標は全国インターハイ五年連続出場。これは達成することが出来ました。第二は南東北新人大会、この大会は今年から新しく行なわれる大会で優勝すると全国選抜大会に出場権をえる大会でしたが、おしくも決勝戦で敗れました。この様に二つの目標の内一つだけ達成することが出来なかつた。来年度は最強のチームを作り東北、全国制覇を目標にチーム一九となつて頑張りたと思います。(宗像重武)

県南新人戦二位

▼サッカー部

(遠藤 雄)

本年度のサッカー部の戦績は、ミニ国体に岩本、東北ユース選抜大会に岩本、高橋の二名を県代表として送り出し、他校に劣らないレベルにある。しかし各種大会では勝てる試合を数多く落してしまつた。勝てなかつたわけは、選手層の薄さと、視野が狭いため連係プレーが回転せず、個人プレーのみが多すぎたと思う。また全国優勝の清水東高は、高度な技術におぼれず、泥くさいまでの全員の勝利に対する執念がみられたが、本校はこのことに問題があり、誰かが何とかしてくれるだろうという、あまい、頼る気持ちで迫りに欠けるところがあつた。

最後の大会の新人戦では県南予選で二位となり、県大会では二回戦で福工に惜敗はしたものの、郡山フェスティバルへの出場権を得たのでどうにか面目を保つた。現在はこのフェスティバルを目標に励んでおり、新年度への飛躍と結びつけていくつもりでいる。先輩諸氏には、御支援・御指導を頂き本当にありがとうございます。(遠藤 雄)

初の全国大会

▼山岳部

山歴十八年の経験豊かな顧問の本多先生を指導者に部員二十数名今年度もフアイトで山行に励んだ。残雪の安達太良に新人歓迎を兼ねて登り、澄んだ空気の中を額に汗して頂を目指す。極めた後の壮快感、快い疲労を伴う幕営など。山に行くまでの活動は、ロードワーク、天気図、装備点検修理等々、学校での地味な活動のうえに成り立っている。その甲斐あって、吾妻を会場に実施された1日にて、最優秀パーティに選ばれ、北工開校以来初の全国大会出場を獲得した。合宿も行い、また、OBの援助もあり、鹿児島から南へ六十キロの海上に浮かぶ屋久島、洋上アルプスと異名を取る九州最高峰の宮之浦岳を舞台に参加し、全国大会の雰囲気を楽しむことができた。

また秋には那須甲子を中心に新人大会が行われ、事故もなく盛会に五十七年度行事も終わろうとしています。女子も一名初めて入部し、来年も山岳部は がんばります。(関根孝良)

神宮球場で熱戦

▼(定)生徒会

本年度生徒会の予算編成にあたって会員数の減少が予算減となり、年間行事計画と部活動の活躍に支障をきたさないようにするにはどうしたらよいかが問題でこのきびしい状況でも従来から実施してきた内容に即して方向づけがなされ、全員参加を目標にどうやら所期の目的が達せられた。球技大会、生活体験発表会、運動会に代わつてボーリング大会等それなりに良い思い出の一駒になった。部活動は少数ながらも若人の意気を精一杯発揮し、卓球、軟式野球それぞれに全国大会出場の足跡を残し得



1/4 神宮球場で

た。県高校体定会通大会で卓球団体は川俣、いわき中央、安達、そして福工を破り、個人戦で準優勝(西川直人)三位(渡辺隆志)の二名が国立々木競技場第二体育館において団体戦は福岡県修験館とわたり合い個人戦でも「九州商、津実業、群馬沼田」「下関西、愛知向陽、兵庫青雲」の各校の人々と対戦、上位入賞こそ逸したものの県代表として、よく頑張つた。

軟式野球にあつても、川俣、須賀川二高、会津本郷そして安積二高を降し念願の福島県代表となつて、神宮球場において試合が出来た。「もう一つの甲子園」を合言葉に夜間照明灯のもとで、放課後、明朝の勤務を同じしながらも部員全員が同じ気持ちになつて練習した甲斐あって獲得した全国大会出場権は努力の大事さを学んだ。

第一回戦が優勝した島根県松江北高校であつただけに、ジャストミート出来ずに敗れたしたもの大観衆の支援を背に受けて世情の厚い支援に再起を誓つて、青春の一戦を飾つた。部員応援団諸君にとっては、学校生活の本当の意義を見出してきていることと思つた。(西浦 弘)

不況下の進路状況

進路指導部 梅津辰雄

たしかに本年度は不況であった。求人会社も昨年よりは一割減だし、求人数は二割減にも及び、特に県内でその傾向が著しかった。ただ、数からだけ見ると、県内二一社、県外一二五六社の求人があり、新卒に關してはまだ売り手市場の感が強い。したがって内定率も、県内、県外の就職割合も例年と変わりがなかったのも実情である。ただ内容的には多少の変化が見られたけれども、止むを得ないのではないかと思う。それは、第一希望合格率にはつきり表われている。県外が六二%、県内が七六%(校内で選考会議があったので、現実的には五〇%)と、昨年の九〇%を思い浮かべると嘘のような話であったし、学校とのつながりのない企業への就職や縁故就職も昨年より大幅に増加した。

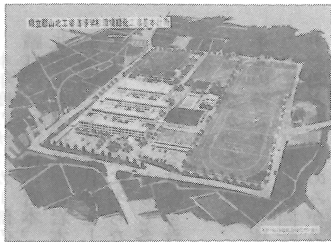
ことしの特徴の最たるものは入社試験における面接の重視ではなかったか。基礎学力の充実は言うまでもないことだが、例年以上に人間性が見られ、何人かの生徒がそれに泣いた。別な

表現で言えばそれだけ企業への選択眼がきびしくなったし、きびしくできる条件も備わったわけだ。つまり生徒があれこれ迷いながら会社を選ぶ以上に会社に生徒を選ぶんだと言う事実をしっかりと後輩に理解させたいと思っている。それと、もうひとつ大事なことが、これだけ実績を挙げ得たのも数多い有能な先輩の力が有形に無形に働いていることで、この卒業生もその伝統をしっかりと守って行ってほしいと望んでいる。北工は不滅、同窓生、在校生一丸となって北工の存在

緑化構想成る

県立高校全日制八十七校、定時制十三校、私立高校十六校の福島県下で屈指の九万平方メートルの敷地、東北一の校舎・設備を持つ母校も創立以来六年経過。

かつて一九六〇年代、市営住宅建設が企画された母校の地は、緑に囲まれているが内濠ともいえるべき、周囲の緑化計画が推進されようとしている。



現境緑化計画図

郡山北工現勢

一九八二・五・一

価値を高めて行って欲しい。

進路	全日制進路		教職員	生徒	校地等	位置
	就職地域別	産業別				
定	宮北東福 他城関京島 県東圏	第二次 第三次	進	定全	校敷地等 舎運動場 (〇〇)	標北東 高緯経 (米)(度)
他			計時日 制制	定全 (うち女子)	〇〇〇〇 〇〇〇〇	一四三 三〇三 一〇三
山			学	計時日 制制	〇〇〇〇 〇〇〇〇	一〇三 一〇三
五			画	一〇三 一〇三	〇〇〇〇 〇〇〇〇	一〇三 一〇三
三				一〇三 一〇三	〇〇〇〇 〇〇〇〇	一〇三 一〇三

支 部 連 絡 先

支部名	支部長名	卒業年度	勤務先	〒	現住所
東京方部	小野寺 昭	23キ	日東紡績(株) 東京営業所建材部	145	東京都太田区北嶺町27-4
宇都宮方部	吉田 良毅	31キ	富士重工(株)宇都宮製作所生産部第二生産課	320	栃木県宇都宮市今宮4-1973-3
水戸方部	山崎 功	29キ	(株)日立製作所水戸工場	312	茨城県勝田市中根4950-14
日立方部	山川 敏夫	27キ	(株)日立製作所日立工場	316	茨城県日立市金沢町2672-100
埼玉方部	土屋 勇	29キ	日産ディーゼル(株)上尾工場	362	埼玉県上尾市愛宕町2-17-9
白河方部	清水 国雄	25キ	清水建設工業(株)	961	白河市南町44
郡山市役所方部	加藤 宰司	25キ	郡山市役所	969-13	安達郡大玉村玉井字薄黒内127
日東富久山方部	高橋 英雄	25キ	日東紡績(株)富久山工場	963	郡山市安積町柴宮27-10
会 長	渡辺 達英	24キ	文房具商	963	郡山市麓山1-16-28
本部事務局長	広江 力男	24キ	県立郡山北工業高等学校	963	郡山市富久山町八山田字大林1 (学校内)

工作機械 / 板金機械 / 熔接機材 / 作業工具 / 測定工具 / 研磨材

株式会社 伊藤商店機材部

代表取締役 伊藤 英 二 (28年度建築科卒)

〒963 郡山市菜根5丁目21番13号 ☎(0249) 33-0611 (代)

同窓会予算・決算報告

1. 収 入

項 目	昭 56 決 算	昭 57 予 算
繰越金	165,854	97,550
会費	1,263,000	1,338,000
入会金	2,463,000	2,535,000
利子	10,066	100
雑収	177,825	90,000
合 計	4,079,745	4,060,650

2. 支 出

項 目	昭 56 決 算	昭 57 予 算
基会	265,200	267,600
本議	133,870	135,000
会費	15,220	40,000
事務	524,860	420,000
信	128,200	120,000
通	30,000	100,000
度	184,845	180,000
放	34,150	30,000
旅	185,850	160,000
会	80,000	80,000
誌	0	14,517
編	2,400,000	2,513,533
外	3,982,195	4,060,650
念		
局		
務		
備		
済		
計		

(事務局・会計担当 広江力男)

母校への庭園贈呈
 統合郡山北工発足が一九七七年四月。当時、桃見台(現安積二)、大槻(現郡山高)、八山田の三校舎。郡山北の卒業生は今春で六回目。卒業時、学校への庭園贈呈は一期玄閣前、二期A・B棟間、三期B・C棟間、四期職員室前、五期正門東南角(五頁、写真、六期東昇降口前。会館建設協賛(芳名) 35機B 有賀 栄 39工化 赤井田守夫

昭和57年度 定例総会報告

事務局だより

昭和五十七年度定例総会は、五月十六日(日)午後二時より「多楽食堂」の二階において職員、来賓多数の御臨席を得て、同窓生三十名が参加して開催されました。総会が始まり、会長より出席された来賓、職員の紹

介がありなごやかな雰囲気の中で議事が進み、おもな内容は決算報告、予算案等が別紙の通り可決され、その他の議案もなく総会は全て終了いたしました。続いて恒例の懇親会が盛大に行なわれました。

教職員異動

一九八二・三・三一

◆転出職員カッコ内転出先
 ●転出者 教諭 竹内正夫(福島工) 大島功二(白河実) 池田吉重郎(須賀川菅野源吉(福島商) 本田浩(田村) 穴沢睦雄(二本松工) 渡辺知美(福島工) 助手 影山清子(福島工) 田母神三知夫(白河実) 外山茂(福島工) 事務長 村上弘(退職) 事務 熊田政弘(県中教育事務所) 教諭 佐藤善久(船引) 渡辺幸典(二本松工) 二生幸雄(二本松工) 手 馬場英雄(退職) 助

◆転入職員カッコ内前任校
 教諭 五輪教一(安達) 大越静枝(安積二) 近藤功(二本松工) 三田村紀忠(白河実) 園部好郎(福島工) 遠藤喜彦(岩瀬農) 主任実習講師 泉田定信(白河実) 実習助手 佐藤喜栄(二本松工) 講師 佐久間郁男(新採用) 事務長 佐久間英男(福島工大) 緑川定男(湖南) 教諭 西浦弘(二本松工) 大和田弘(二本松工) ●退職者 村上弘、馬場英雄

同窓会役員名

会 長 渡辺 達英
 副 会 長 佐藤 正夫
 同 今泉 善治
 同 今泉 顕善
 同 佐久間 秀夫
 同 塚原 健二
 同 加藤 和夫
 同 滝田 孝太郎
 同 廣江 力男
 同 岡崎 初美
 同 遠崎 守
 同 泉田 定信
 同 宮部 正吉
 同 関根 孝良

新入会員(見込み)

昭58・2・28

合 計	定時制		全 日 制	
	電 氣	機 械	電 氣	機 械
四三七名	一一二名	一九名	七八名	四一八名
			三九名	四二二名
			二九名	八三名
			一三名	一一三名

(前年比九減)

よい子が育つよい牛乳
 あぶくま高原牛乳

おいしいパンとケーキ
大友パン店

岡田乳業 小原田販売所
 郡山市栄町5-18 ☎33-3281

郡山市さくら通り ☎23-6536

同窓会規約

第一章 総則

第一条 本会は福島県立郡山北工業高等学校同窓会と称し、本会の本部事務局は、福島県立郡山北工業高等学校(以下「母校」と称す)内におく。

第二条 本会は会員の親睦を図り互助の事業を行ない、母校教育の振興発展に努め、わが国の工業発展に寄与することを目的とする。

第三条 本会は第二条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- 一 母校の発展と会員の相互扶助に関する事業
- 二 会誌・会員名簿・その他図書印刷物の刊行
- 三 その他目的達成に必要なる事業

第二章 会員

第四条 会員を分けて普通会員、名誉会員、特別会員とする。

- 一 普通会員は県立郡山工業高等学校・県立郡山山西工業高等学校・県立郡山北工業高等学校の出身者とする。
- 二 名誉会員は母校の旧校長とする。
- 三 特別会員は母校の現

旧教職員とする。

第三章 役員

第五条 本会に次の役員をおく。

- 一 会長 一名
- 二 副会長 四名
- 三 監事 三名
- 四 常任幹事各々三名
- 五 幹事 名
- 六 事務局局長 一名
- 七 事務局次長 名

第六条 役員の仕事は次のとおりである。

- 一 会長は本会を代表し会務一切を統括する。
- 二 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その任務を代行する。
- 三 監事は本会の運営及び会計を監査し、幹事に出席し発言できる。
- 四 常任幹事は本会の事業を執行する。
- 五 幹事は本会の事業を審議する。
- 六 事務局局長は会務の処理にあたる。
- 七 事務局次長は事務局長を補佐し庶務を担当する。

第七条 本会の役員は次の方法によって選出し、その任期は二年とする。但し再任を妨げない。

- 一 会長・副会長・監事は総会において選出する。

第八条 本会の会議は総会・幹事会・常任幹事会とする。

一 総会は本会の最高決議機関であつて、毎年一回会長がこれを召集し、必要と認められた場合は、臨時に開くことができる。総会には出席人員をもって成立し、決議は出席者の過半数の同意を必要とする。

二 幹事会は正副会長・事務局局長・同次長・常任幹事・幹事・監事で構成し、総会につく決議機関である。

三 常任幹事会は正副会長・事務局局長・同次長・常任幹事・監事で構成し、会務を審議執行する。

第九条 必要に応じて三役会を開くことができ、正副会長・事務局局長で構成する。

第十条 本会の経費は会費・入会金・事業収入・寄附金をもってこれをあ

二 常任幹事・幹事・事務局局長は会長が委嘱する。

三 事務局次長は事務局長が選任する。

第四章 会議

第十二条 本会の入会金・終身会費の二割を、基本金として積立てる。

第十三条 本会の会計年度は四月に始まり、翌年三月に終る。

第十四条 本会の収支は毎年三月末日において決算し、総会に報告する。

第十五条 本会に次の帳簿をおき、事務局で保管する。

- 一 規約綴
- 二 会員名簿
- 三 役員名簿
- 四 会計簿
- 五 記録簿
- 六 文書綴
- 七 備品台帳
- 八 その他必要と認められた帳簿

第十六条 本会に次の内規を設ける。

- 一 表彰内規
- 二 旅費内規
- 三 慶弔内規
- 四 会計内規

第十七条 本会会員は氏名・住所・勤務先等に変更があった場合、直ちに事務局に連絡しなければならぬ。

第十八条 規約の変更は総会において、出席会員の過半数の賛成を得なければならぬ。

第十九条 規約は昭和五十二年十二月十八日より施行する。

一 この規約は昭和五十五年五月十八日より施行する。

第二十条 本会に次の集

第二十一条 本会に次の集

第十二条 本会に次の集

第二十条 本会の経費は会費・入会金・事業収入・寄附金をもってこれをあ

第五章 会費・会計及び諸帳簿

第二十一条 本会に次の集

第二十二条 本会に次の集

第二十三条 本会に次の集

第二十四条 本会に次の集

第二十五条 本会に次の集

第二十六条 本会に次の集

第二十七条 本会に次の集

第二十八条 本会に次の集

第六章 雑則

第二十九条 本会に次の集

第三十条 本会に次の集

第三十一条 本会に次の集

第三十二条 本会に次の集

第三十三条 本会に次の集

第三十四条 本会に次の集

第三十五条 本会に次の集

編集後記

一 昨年冬、積雪二米と打つて変つて、今度は真冬日五回だけで、特に朝の気温が二、三度高い暖冬異常。北半球は暖冬、日本列島のみならず世界は同時冬景色。不況下、国鉄・鉄・船・石油・建設・金融等人員抑制の中で曲りなりにも就職が順調に行つたのも、教職員・生徒・同窓生・PTA等一体の力の賜でしょう。生徒会、この一年を特集しましたが、一層の奮闘を期待します。生徒会機関誌は(全)北嶺第六号、(定)よぞら第十六号が出ました。

◆作業服・制服・白衣 製造◆

株式会社 浜津被服

代表取締役社長 浜津 平一
専務取締役 浜津 幸平 (機3期卒)

福島県郡山市清水台二丁目5番3号 ☎32-2631

★新刊 書籍・雑誌・教科書・北工教科書 取扱店

(有)松文堂書店

堂前店 郡山市堂前町(如宝寺前) ☎322362
さくら通り店 郡山市清水台(八幡プラザ) 1F ☎221735